

**第4次指宿市子ども読書活動推進計画（案）に関する
意見等及び当該意見等に対する教育委員会の考え方**

| No | 頁 | 関係機関等から提出された 意見等（※1） | 意見等に対する 教育委員会の考え方 |
|----|----|---|---|
| 1 | 全般 | <p>本読書計画の「はじめに」のところに「多く本を読み「心に残る1冊の本」と出会う」とあり、全体にわたって「本を ”たくさん” 読む」ことに力点が置かれているように感じます。</p> <p>昨今ではスマホで本を読むなど多様な読書形態が急速に拡大している中、本をたくさん読むことと心に残る本に出会うことについて、お考えをお示してください。</p> | <p>「本をたくさん読むこと」とは、単に「読んだ紙の本の冊数を増やす」という意図ではなく、読書形態に関わらず、文学、伝記、図鑑、実用書などさまざまな内容（ジャンル）に触れたり、気に入った本を繰り返し読んだりすることであるとと考えております。</p> <p>また、本計画のアンケート結果から、心に残る本に出会う時期として、中学生の頃である可能性が高いと推察されます。</p> <p>以上を踏まえ、生涯にわたる読書習慣形成のため、中学生の頃に「心に残っている」と頭に浮かぶ1冊に出会えるような充実した読書環境づくりに取り組んでいきます。</p> <p>なお、御指摘の「はじめに」については、「子どもたちが1人でも多く本を読み「心に残る1冊の本」と出会う」という内容であり、冊数に関わらず「多くの子ども」に本を読んでほしいという意図で表記しております。</p> |
| 2 | 全般 | <p>本読書計画では、本を読むときは当然に「黙読」で、と言う感じを受けます。</p> <p>一方、読書には、声を出して読む「音読」があります。</p> <p>音読では、①目で文字を追う、②口を動かして声を出す、③耳でその声を聞くといった五感を働かせるため、「記憶に残りやすい」、「集中力が続きやすい」などのメリットがあるとされております。</p> <p>p28の②に「文字で表された場面や情景をイメージするようになる」とありま</p> | <p>「音読」については、御意見のとおり多くのメリットがあり、文字や内容の理解を深めることにも役立つ読書形態であると考えております。</p> <p>地域で取り組んでいる読書活動として、公民館などの放送施設を使って子どもたちの音読を地域へ届ける「朝読み夕読み」があります。本計画(案)41ページでは、自治会での「朝読み夕読み」の機会づくりを活動目標として掲げておりますので、今一度音読の持つメリットについ</p> |

| | | | |
|---|----|--|---|
| | | <p>すが、「音読」ではそれが自然により強く出来るようになると言われていました。</p> <p>については「音読」について、お考えをお示しください。</p> <p>また、それを朝の読書や読書クラブなどに推奨、実践化するお考えは有りませんか。</p> | <p>て、子どもや保護者、地域の方々へ周知し、地域活動として推奨する機会を設けたいと考えております。</p> <p>また、学校の朝読書の時間を活用した音読の推奨については、各校の状況を勘案しながら検討します。</p> |
| 3 | 全般 | <p>昨今の状況を鑑みると、騒がしいところでは読書は出来ないという従来の”教え”は当てはまらないように感じます。市立図書館の利用を増やすための方策として、館内に一定エリアを設けて、そこでは「音読をしても良い」、「おしゃべりしながら本を読んでも良い」などと、図書館では読書が「楽しく」出来る、と思ってもらえるような工夫が必要ありませんか。</p> | <p>御提案の内容について、図書館を交流の場として捉える中高生や保護者の来館を促すためにも有効であると考えております。本計画(案)の38ページにあるとおり「親子向けの読み聞かせスペース、青少年の談話スペースなど、親子や友人同士で利用しやすい環境の整備」に努める考えです。</p> <p>公立図書館の施設の状況を踏まえ、環境整備の方法を検討します。</p> |
| 4 | 全般 | <p>「読書を通じた楽しさ」に関して、複数の人たちが同じ文章を声に出して一緒に読む「群読」というものがあり、それを実践している学校などがあります。</p> <p>これのメリットとして「協働的な学びが生まれる」、「表現力が育つ」などが言われており、デメリットとして「個々の読みの力が見えにくい」、「苦手な子が埋もれてしまうことがある」などが言われておりますが、この「群読」については、如何お考えでしょうか。</p> | <p>群読は、表現力・理解力を高めるために有効な言語活動の一つです。学校の教育活動においては、御指摘のあった群読の留意点にも配慮しながら、しばしば群読の取組が行われています。</p> <p>本計画(案)53ページの「本を読みたいと思うような啓発活動を行います」という活動目標に関連し、「本を楽しむ」ということは、「群読」を含むさまざまな取組があることを家庭や学校、地域などへ広報します。</p> |

※1 提出された意見等は、その意見等の趣旨から外れないように要約等してあります。